

# CITIZEN

**Windows ドライバーインストールガイド**

**インストーラー版**

**Ver3.6xx 用**

**シチズン・システムズ株式会社**

## 目次

目次.....	- 1 -
更新履歴(3.xx/2.xx) .....	- 2 -
1. オペレーティングシステム.....	- 5 -
2. インターフェース（ポート）.....	- 5 -
3. ドライバーのインストール.....	- 7 -
3.1 ドライバーのインストールの概要 .....	- 7 -
3.2 事前準備 .....	- 7 -
3.2.1 共通の事前準備（プリンターのメモリースイッチ設定）.....	- 7 -
3.2.2 USB（プリンタークラス）.....	- 7 -
3.2.3 パラレルインターフェース（LPT ポート）.....	- 7 -
3.2.4 シリアルインターフェース（シリアルポート、COM ポート）.....	- 8 -
3.2.5 USB 仮想 COM .....	- 8 -
3.2.6 有線 LAN/無線 LAN（TCP/IP）.....	- 8 -
3.2.7 Bluetooth .....	- 8 -
3.3 ドライバーのインストーラー実行 .....	- 15 -
3.3.1 ポート選択まで .....	- 15 -
3.3.2 ポート選択 .....	- 16 -
3.3.3 ポート選択以降.....	- 20 -
3.3.4 サイレントインストール .....	- 21 -
3.4 事後処理（PC と接続するインターフェースが USB、またはパラレル・LPT の場合） .....	- 22 -
3.5 プリンターの追加インストール.....	- 25 -
3.6 COM ポート、TCP/IP ポートの追加 .....	- 26 -
3.7 インストールと OS のアップデートに関する注意点 .....	- 27 -
4. アンインストール .....	- 29 -

## 更新履歴(3.xx/2.xx)

年月日	バージョン	履歴
2009/06/25	V2.00	発行
2009/10/29	V2.01	説明に CT-S601 を追加
2009/12/15	V2.02	Windows7 対応 インストーラー変更(ステータスモニター付を標準とする) CITIZEN COM ポートの説明を追加 プリンターの追加インストールの説明を追加
2010/05/20	V2.02(修正版)	CT-S651//851 を追加
2010/5/27	V2.23	バージョンの付け方をドライバー本体のバージョンに合わせた。 ステータスモニターを Ver2.2.4.0 へ更新しオンライン/オフライン状態が取得できるようになった。 ステータスモニターのデフォルト USB 送信タイムアウト値を 8 秒へ変更し Windows7 の USB 経由で双方向ドライバーを使用すると通信エラーになる問題に対応。 各 dll の FileDescription に 32-bit/64-bit の表記を追加。 CT-S601、651、801、851 の Windows7 デバイスアイコンを追加。
2010/11/25	V2.24	サポートするインターフェースにイーサネットを追加。 POS Printer Utility を Ver1.8.3 へ更新。(設定値の間違い修正) Status Monitor Library を Ver1.3.1 へ更新。(ステータス取得時間を改善)
2011/4/13	V2.25/1.660	二次元バーコードフォントを追加。 "Label/BM"機能を"Paper Media"機能へと変更。 "Cutter Mode"を変更、Label/BM Paper のカット動作を選択可能にした "Paper Feed"機能を新規追加し、カット前の紙送り量が調整可能にした ファイル送信機能のゴミ印字の不具合に対応 ボタンとタブが環境により可視、不可視になる機能を追加 ステータスモニターを 2.2.5.2 にマイナーチェンジ POS プリンターユーティリティをドライバーインストーラーからはインストールされなくなった POS プリンターユーティリティ 2.0 にアップデート 説明文書に使われる画像を Windows7 のものに変更 Ver1.660 の説明を統合
2012/6/15		TCP/IP ポートドライバーの説明を追記
2013/3/1	V2.27/1.680	Windows8 対応 バージョンダイアログの追加 ウォーターマークの途中でカットが入る不具合を修正 クライアント PC から共有プリンターで再印刷、クーポン印刷が出来ない不具合を修正 ステータスモニターを 2.2.5.3 に更新 Win8/Win Server2012 に対応 ログファイル機能の改良 オフラインステータスの取得有り無しを設定を追加 印刷完了通知機能の有効無効を設定可能にした パラレル (LPT) 以外でのインターフェース用問合せコマンドの内容の変更 ステータスモニターの設定をドライバー単位からモデル単位に変更 ドライバーポート設定ツールを更新
2013/7/22	V2.28/V1.690	独語、仏語版などの Windows8 において、インストールが失敗する不具合に対応しました。 LAN、WLAN との組合せで、プリンターのエラーステータスが取得出来ない事がある不具合に対応しました。 CITIZEN PMU2xxxIII Presenter のステータスの名前判定の間違いを修正しました。 ドライバーのアンインストール画面のアイコンから"X"マークを削りました。
2014/1/21	V2.28/1.691	CT-S281BD のサポートを追加
2015/3/9	V3.101/2.281/1.691	V3.xx の追加 CT-S251/CT-S8xx(II)/CT-S6xx(II)を追加 対象 OS から CT-S2000 を削除
2015/08/20	V3.200	Windows10 に対応 拡張機能の有効無効切替機能の追加により、1.xx/2.xx 系のドライバーを 3.xx 系に統合
2016/2/12		説明のベースを Vista から Windows7 へ変更。 CITIZEN TCP/IP ポートモニターのインストールの必要性の情報を追加した。
2017/2/28	V3.3.00	インストーラーをトラブルが起きにくい形に改善 ・インストールの流れを改良、インストールに掛かる時間を短縮し、ファイルサイズを小さくした ・同梱ツールをドライバーとセットでインストール・アンインストールされるように改善 ・USB で先に接続されていた場合でもインストール後に電源を入れ直すだけで済むように改善 ・TCP/IP ポートモニターも同時にインストールされるように追加 LAN インターフェースでオフラインが起りにくいようステータス機能を改善 別ツールで行っていたポートのタイムアウトなどの設定をドライバー自体の機能として取り込んだ CT-S255 のサポートを追加 CT-S255 の用紙サイズに新基準を採用
2018/7/17	V3.4.00	ドライバー本体の変更はなし。 SNMP によるステータス取得方法が選択できるようにしました。

		Bluetooth の接続途切れ時の処理を改善しました。 インストール手順に若干の改善をしました。
2018/12/28		CT-S257 のサポートを追加。
2019/4/5	V3.5.0.0	CT-S4500 のサポートを追加 Bluetooth でのインストール方法を追加 トラブル時の解析を簡単にする ETW を導入 1.6xx系の説明を削除
2020/11/17	V3.6.0.0	インストールガイドを大幅改訂 エラー時自動再印刷機能を追加。 様々なリモートからのドライバーのインストールの問題を解決する Package-Aware に対応 CT-E601 のサポートを追加 標準 TCP/IP ポート+ステータスドライバーの組合せで例外エラーが発生しないようにしました。 PnP 直後に (Copy 1)のドライバーのステータス機能が有効にならない不具合を修正しました。
2021/3/8		CT-S4500 Compress プリンターのインストール時の注意を追加
2021/3/25		3.7 章 トラブルでの免責条件に関する注意書きを追加し、3.2 章に注意書きを読むことを促す文を追加
2022/8/17	V3.6.1.0	Windows11 に対応しました。 3.2.1 章 MSW6-1:ドライバ用動作の工場出荷設定値の誤記を訂正しました。 3.3.4 章サイレントインストールを追加しました。

## ご注意

- (1) 本書の内容の一部、または全部を無断で転載することは、固くお断りいたします。
- (2) 本書の内容については、事前の予告なしに変更することがあります。
- (3) 本書の内容については万全を期して作成いたしましたが、万一誤り・お気付きの点がございましたら、ご連絡くださいますようお願いいたします。
- (4) 運用した結果の影響につきましては、(3)項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
- (5) 上記に同意いただけない場合は、本書が説明しているドライバーをご使用いただけません。

## 商標

Microsoft、Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003、Windows Vista、Windows 7、Windows8、Windows8.1、Windows10、Windows11、Visual Basic、Visual C++、Visual C#、.Net、Microsoft Word、Microsoft Access、TrueType は米国マイクロソフト社の登録商標です。  
その他、記載されている会社名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

## **本書が扱う内容について**

用途、プリンターの仕様、使用する用紙(メディア)により、インストールが完了した後に追加の設定が必要になる場合がありますが、この文書では、インストールの終了までのステップについてのみ説明いたします。追加の設定については、別紙の Windows ドライバー 仕様(機能、設定、仕様)を参照ください。

**本書は、弊社ドライバーを初めてインストールする場合を想定して説明をしています。すでに弊社ドライバーがインストールされている PC では、ドライバーを事前にアンインストールして下さい。アンインストール後にアンインストールされたものより古いバージョンのドライバーをインストールしないでください。**

**Windows10 では、設定画面として従来型のものと新しいものの 2 種類が用意されていますが、この文書では、10 より前の Windows でもわかるように、できるだけ従来型の設定画面を使って説明をしています。**

## **1. オペレーティングシステム**

このドライバーは以下のシステムに対応しております。

Microsoft Windows XP

Microsoft Windows Vista

Microsoft Windows 7

Microsoft Windows 8, 8.1

Microsoft Windows10

Microsoft Windows11

サーバーOS など上記をベースとした派生 OS

## **2. インターフェース (ポート)**

サポートするインターフェース(ポート)は以下の通りです。

シリアル／CITIZEN COM／Bluetooth SPP 接続により生成された仮想 COM

パラレル(LPT)

USB (プリンタークラス)

USB 仮想 COM (VCOM)

LAN、無線 LAN／CITIZEN TCP/IP

USB では、プリンターの設定により、プリンタークラス(通常のプリンターのデフォルトの USB のモード)か、USB 仮想 COM の 2 種類が選べます。通常プリンタークラスを使用しますが、PC にはシリアルポートがなく、ご使用になるアプリがシリアルポートから印刷しかサポートしていない場合は、仮想 COM を使う必要があります。

## **ご注意**

### **USB 仮想 COM(ドライバー)**

USB を仮想 COM としてお使いになる場合は、別途 USB 仮想 COM ドライバーをインストールする必要があります。仮想 COM ドライバーのインストール方法については、本書では説明しません。仮想 COM ドライバーガイドをご覧ください。

また、CT-S280 の USB は仮想 COM だけをサポートし、専用のインストーラーが用意されています。

#### CITIZEN COM (ポートモニター)

シリアルインターフェースを使用し、プリンターの状態を監視するには CITIZEN COM が必要です。  
CITIZEN COM については本書内に説明があります。

#### CITIZEN TCP/IP (ポートモニター)

LAN、無線 LAN インターフェースを使用される場合は、プリンターの状態を監視するために、CITIZEN TCP/IP をご使用下さい。CITIZEN TCP/IP についてはこの文書内に説明があります。

プリンターが複数の PC から LAN または無線 LAN で接続されている場合に、その中のどれかの PC が LAN 接続を終了せずに電源 OFF 等した場合、プリンターは通信が途切れていることを確認し、その PC との LAN 接続を止めますが、確認をする間、他の PC との通信が止まります。(最長 180 秒)

### 3. ドライバーのインストール

#### 3.1 ドライバーのインストールの概要

ドライバーのインストールの手順は、大きく分けて、「事前準備」、「インストーラー実行」、「事後処理」となります。「事前準備」とインストーラーの実行中に出る「ポートの選択」の部分では、インターフェースの種類により必要になる内容が異なります。そのため、違いのある部分に関しては、インターフェースごとに説明します。

#### 3.2 事前準備

事前準備する内容には、PC とプリンターの接続に加え、PC 側に必要になるものとプリンター側で必要になるものがあります。**3.7 章の注意事項に必ず目を通してください。**

##### 3.2.1 共通の事前準備（プリンターのメモリースイッチ設定）

プリンターの多くには、設定を記憶するメモリースイッチというものが用意されています。

ドライバーをご使用になる際、工場出荷時のメモリースイッチ設定でも、ほぼ問題ありませんが、正しいステータスの取得や Bluetooth 通信のためには、以下のように設定することを推奨します。

なお、これら全て・一部のメモリースイッチが存在しない古いモデルも存在します。

各スイッチの切り替え方法につきましては、POS Printer Utility を使うことをお勧めしています。

MSW No.	機能	設定	設定内容(意味)	工場出荷時設定
1-3	Busy 条件	ON	バッファフル	フル/オンライン
5-3	USB モード	ON	プリンタクラス (プリンター用の USB のモード)	プリンタクラス
		OFF	仮想 COM (USB ポートをシリアルポートとして使う設定)	
6-1	ドライバ用動作	OFF	無効	OFF (無効)
13-6	再接続要求 (Bluetooth モデルのみ)	無効	(再接続要求をしない)	有効

##### 3.2.2 USB (プリンタークラス)

①メモリースイッチ「MSW5-3 USB モード」がプリンタークラスになっている必要がありますが、ほとんどのモデルでのデフォルトの設定なので、通常、変更する必要はありません。(例外は CT-P29x と CT-S280 で、CT-S280 ではプリンタークラスを選択することができません。)

②PC とプリンターは、事前準備の時点で接続しておくことをお勧めします。

③事後処理で、電源を入れますので、この時点では、プリンターの電源が切れていることを確認してください。

##### 3.2.3 パラレルインターフェース (LPT ポート)

①PC とプリンターは、事前準備の時点で接続しておくことをお勧めします。

②事後処理の中で電源を入れますので、この時点でプリンターの電源が切れていることを確認してください。



### 3.2.4 シリアルインターフェース（シリアルポート、COM ポート）

①プリンターと PC 上のシリアルポートの設定は同じになっている必要があります。それぞれの設定を確認し、同一の設定にします。

プリンター側のシリアルポートの設定を PC に合わせる場合は、ユーティリティや DIP スイッチで変更をする必要があります。詳しくは、プリンターやユーティリティの説明書を参照ください。

Windows 側のシリアルポートの設定をプリンターに合わせる場合は、ドライバーのインストールの途中で設定する場面があり、3.3.2 章で説明されています。

②PC とプリンターは、事前準備の時点での接続しておくことをお勧めします。

③プリンターの電源はこの時点で ON にしておくことをお勧めします。

### 3.2.5 USB 仮想 COM

①USB を仮想 COM として使う必要があることを確認してください。

②プリンターのメモリースイッチ「MSW5-3 USB モード」を VCOM に設定してください。（CT-S280 を除く）

③PC に、USB 仮想 COM (VCOM) ドライバーをインストールしてください。これにより、USB ポートを仮想シリアルポートとして使用することができます。COM ポート番号は、ご使用になるモデルや VCOM ドライバーの種類により決まります。詳細は、VCOM ドライバーの説明書を参照ください。

④仮想シリアルポートの場合、PC とプリンターの間でポートの設定を同一にする必要はありません。

### 3.2.6 有線 LAN/無線 LAN（TCP/IP）

必要に応じてケーブルの接続、無線やネットワークの設定を行ったうえで、プリンターをネットワークに参加させてください。

ネットワークの設定をするには、ユーティリティを使う方法とブラウザで設定用画面にアクセスする方法があります。詳しくは、プリンターもしくは、ネットワークボードの説明書を参照下さい。

### 3.2.7 Bluetooth

Windows は Bluetooth をシリアルポート（仮想 COM ポート）として扱いますが、以下の事前準備が必要になります。

- A) PC とプリンターの Bluetooth のペアリングをする
- B) プリンターの Bluetooth に割り当てられた COM ポート番号の確認する
- C) プリンター側でのシリアルポート以外の設定を行う。
- D) Windows 側での注意すべき項目の設定を必要に応じて行う。

それぞれについて以下で説明します。

#### A) PC とプリンターの Bluetooth のペアリング

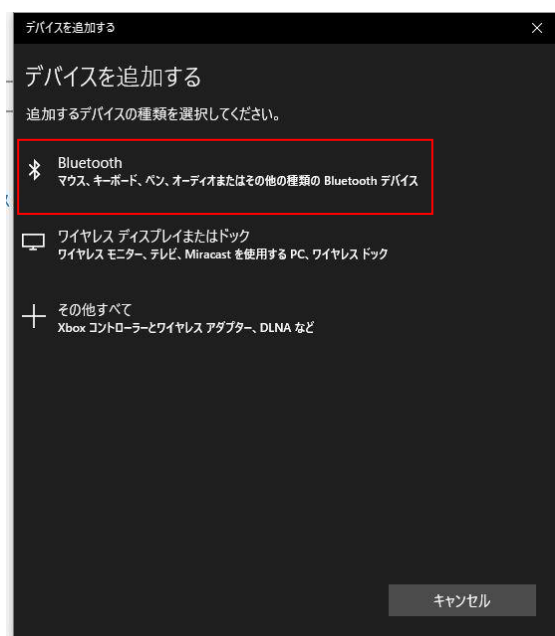
Bluetooth デバイスを使用するには事前にペアリングが必要です。

以下に Windows10 の場合のペアリングの手順を説明します。

「設定」→「デバイス」から「Bluetoothとその他のデバイス」の画面を開きます。右の画面が出るので、「Bluetooth またはその他のデバイスの追加する」を選びます。

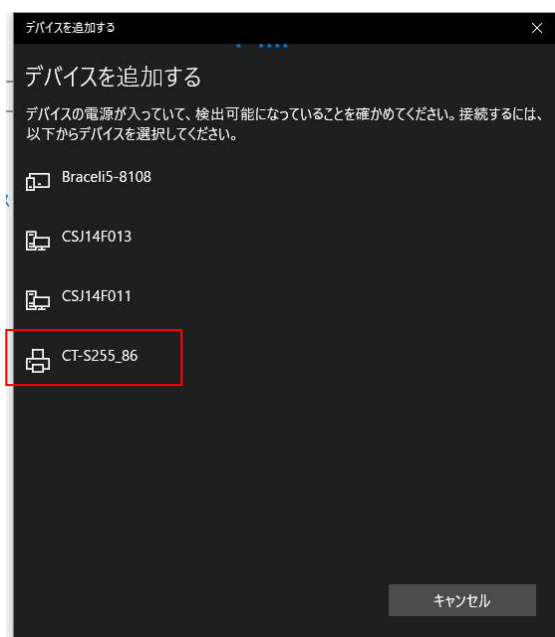


右の画面が出るので、「Bluetooth」を選びます。

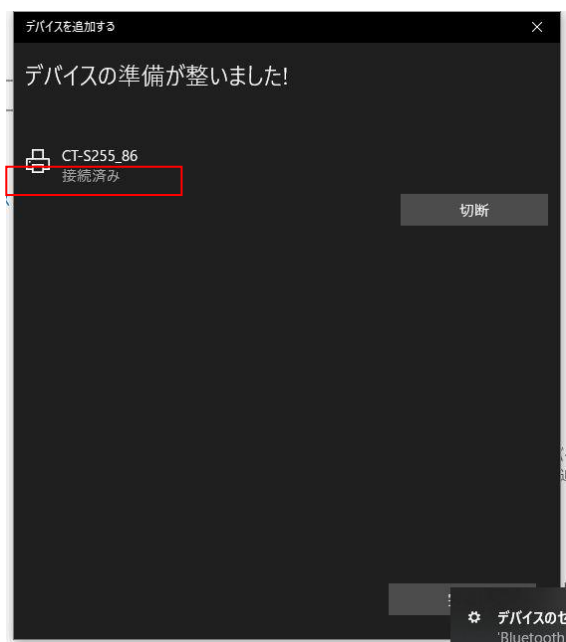


Bluetooth の検索で見つかったデバイスが表示されますので、使用するプリンターが表示されたら、それを選択します。

(場合により、ここで PIN コードの入力を求められることがあります。PIN コードは、Bluetooth の BD アドレス下 4 桁になります。セルフ印字にて事前に BD アドレスを確認しておいてください。)



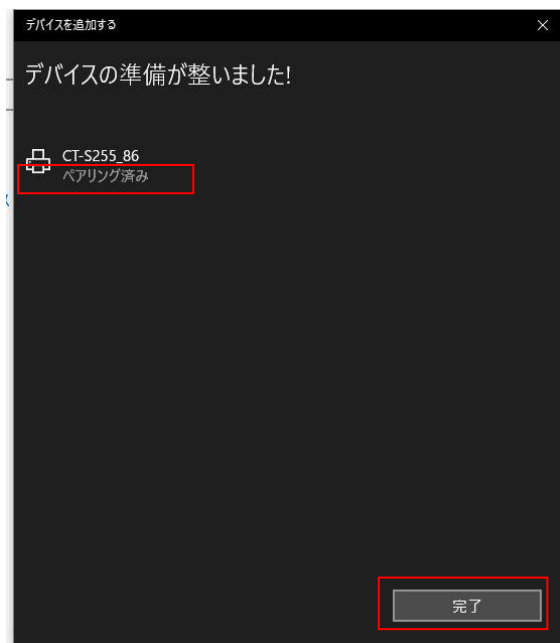
すると、「接続済み」と表示され



「ペアリング済み」と表示されます。

(モデルによっては、ペアリングを手動で行う必要があります。)

「完了」ボタンを押します。



「Bluetooth とその他のデバイス」の画面に戻り、その他のデバイスに選択したプリンターが表示されていることを確認します。

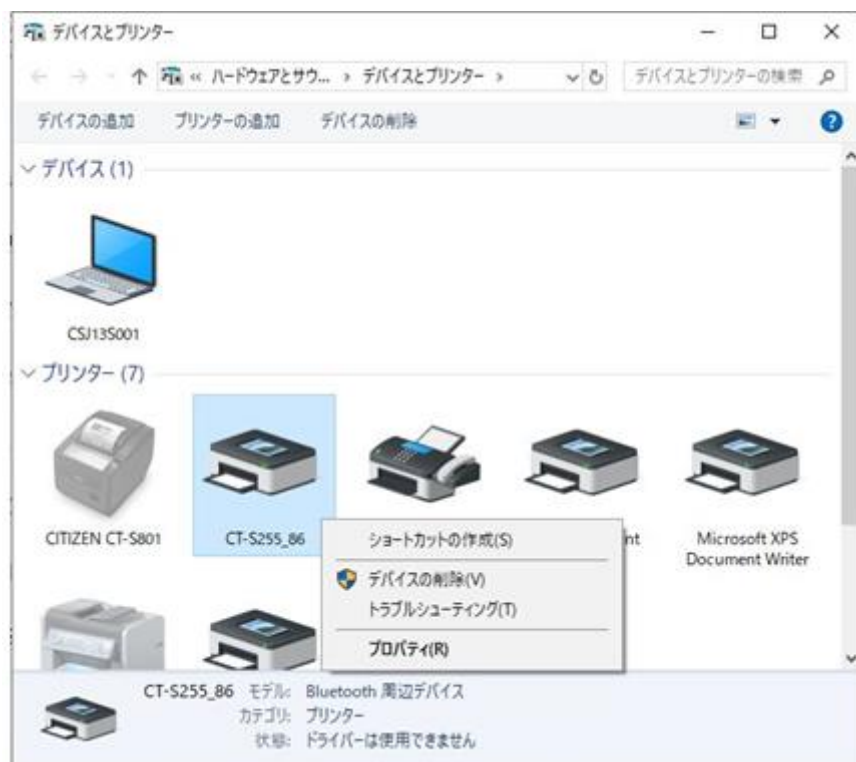
「ドライバーは使用できません」というメッセージが出ます。



## B) プリンターの Bluetooth に割り当てられた COM ポート番号の確認

Bluetooth は、Windows 上では COM ポートとして扱われるため、ドライバーのインストールの中で Bluetooth に割り当てられた COM ポート番号を指定する必要があり、インストールの前に、COM ポート番号を確認しておく必要があります。以下に、その方法を説明します。

「デバイスとプリンター」の画面に出ているアイコンを右クリックして、「プロパティ」を選びます。  
(ここに出ているアイコンは、プリンターの Bluetooth が認識されていることを表しています。印刷用のドライバーではありません。)



右の画面が出るので、「サービス」のタグを選択します。



右のような画面が出て、この例では、「COM3」が割り当てられていることが確認できます。



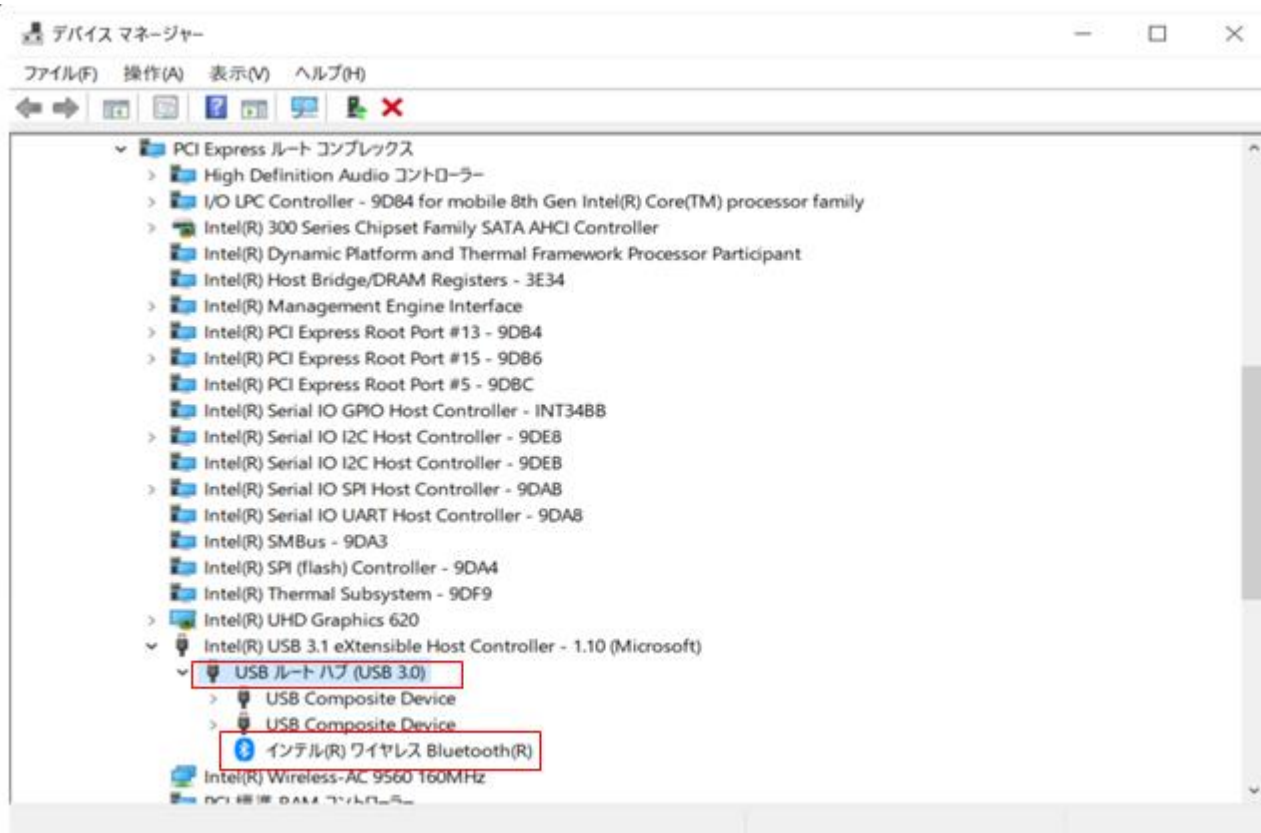
#### C) プリンター側で必要になる事前準備

プリンターのメモリスイッチ「MSW13-6 再接続要求」を無効に設定することをお勧めします。再接続要求はiOS のためだけ機能で、Windows との Bluetooth の安定した通信のためには無効になっていることが望ましいです。プリンターには、手操作で簡単に再接続要求を無効に設定する方法が用意されています。詳しくは、取扱説明書を参照ください。

#### D) その他の Windows での Bluetooth に関する注意が必要な設定項目

- ・Bluetooth の通信は通信速度が遅いため、グラフィック印刷など、データ量の多い印刷の場合、時間がかかり、なおかつ通信障害の影響を受けやすくなります。できるだけ、プリンターの内蔵フォントを使い、データ量を少なくすることを推奨します。

- ・Bluetoothの接続が意図せず切れ、切れ、Windowsの省電力機能との関係が疑われる場合、WindowsのデバイスマネージャのBluetoothアダプターまたはBluetoothアダプターが接続しているコントローラー等を確認してください。「電力の節約のために、コンピューターでこのデバイスの電源をオフできるようにする」にチェックが入っている場合は、チェックを外すことをお勧めします。



### 3.3 ドライバーのインストーラー実行

Windows 10 への CITIZEN CT-S801II のインストールを例にとって説明致します。

「ポート選択」の部分が重要なので、「ポート選択まで」、「ポート選択」、「ポート選択以降」と分けて説明します。

本インストーラーは、ウィザード形式で手順を追ってインストールを進めます。

ご使用になるオペレーティングシステム(OS)によって多少違いがありますが、ほぼ同じ手順となります。

#### 3.3.1 ポート選択まで

プリンターのインストーラーのファイルを入手し、起動してください。

以下は、CT-S801II での例です。cts801ii\_lm\_v3000.exe というインストーラーを実行します。

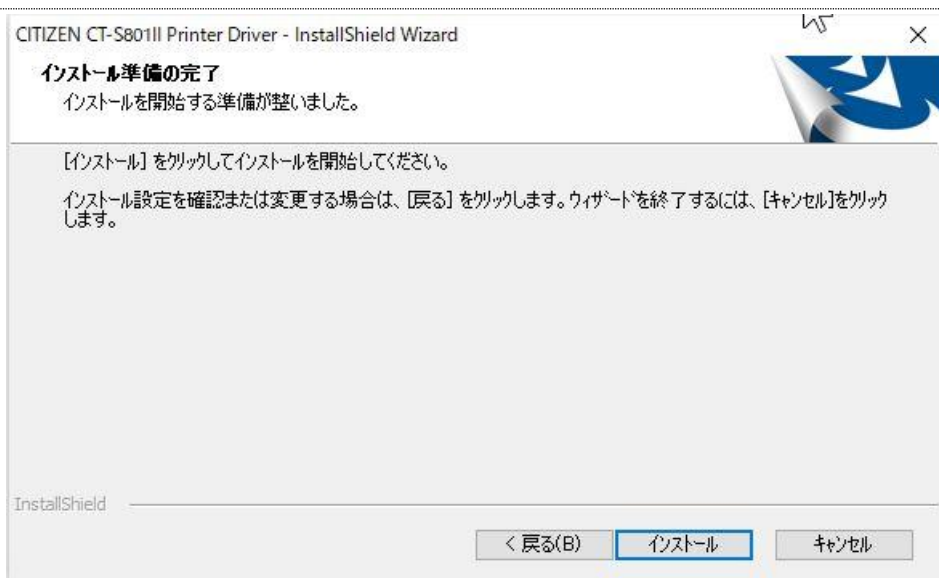
「ユーザーアカウント制御」ダイアログが起動しますので、「続行」を押して下さい。

<p>「次へ」を押してください。</p>	
<p>使用許諾契約にて、「使用許諾契約の全条項に同意します」を選んで頂き、「次へ」を押して下さい。</p>	



右のような画面が表示されますので、「インストール」を押して下さい。

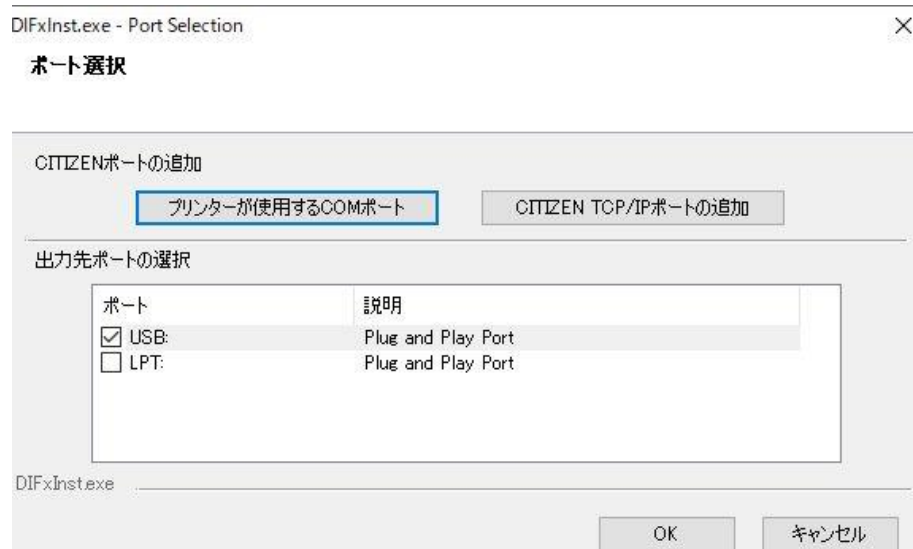
以降、必要なソフトウェアが順番にインストールされます。



### 3.3.2 ポート選択

ポート選択以前のステップを終えると、右のポート選択の画面が出ます。

ここで、プリンターと接続しているポート(インターフェース)を選びます。



#### 1) USB (プリンタークラス) / LPT の場合

USB か LPT にチェックを入れて OK を押してください。

#### 2) COM (シリアル / 仮想 COM / Bluetooth)の場合

「プリンターが使用する COM ポート」ボタンを押し CITIZEN COM ポートを追加してください。追加の手順は、以下に説明します。

・出力先ポートに出ている CITIZEN COM でない Windows 標準のシリアルポートとステータス機能付きドライバを組み合わせると、トラブルが起きる可能性があります。

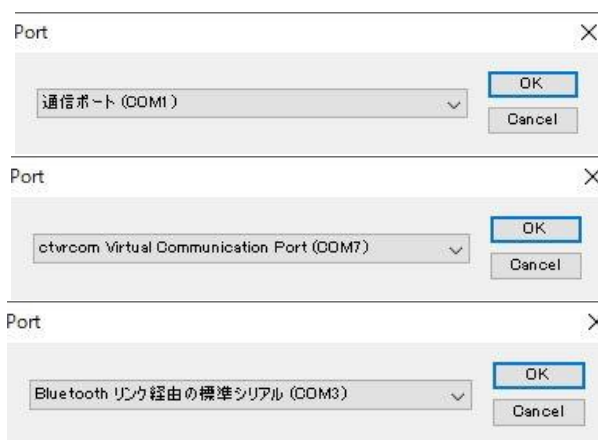
「プリンターが使用する COM  
ポート」のボタンを押します。



ポートを選択する画面が出る  
ので、CITIZEN COM へ割付  
けるシリアルポートを選択しま  
す。

※右は、シリアルポート/仮  
想 COM/Bluetooth を選んだ  
例です。

選択したら「OK」を押します。



選択したポートの設定を行  
います。

通常のシリアルポートでは、  
事前準備にて調べておいたポ  
ートの設定に合わせてくださ  
い。

仮想 COM や Bluetooth では、  
左の絵の設定にしてください。  
ポートの設定が終わったら、  
「OK」を押します。



ポート選択の画面に戻ったら、OKを押します。



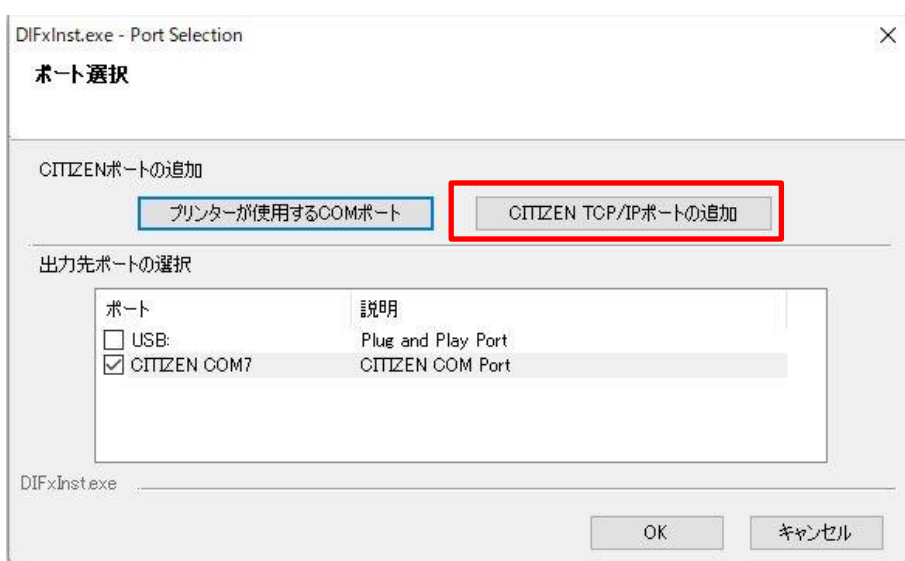
### 3) 無線 LAN/有線 LAN の場合

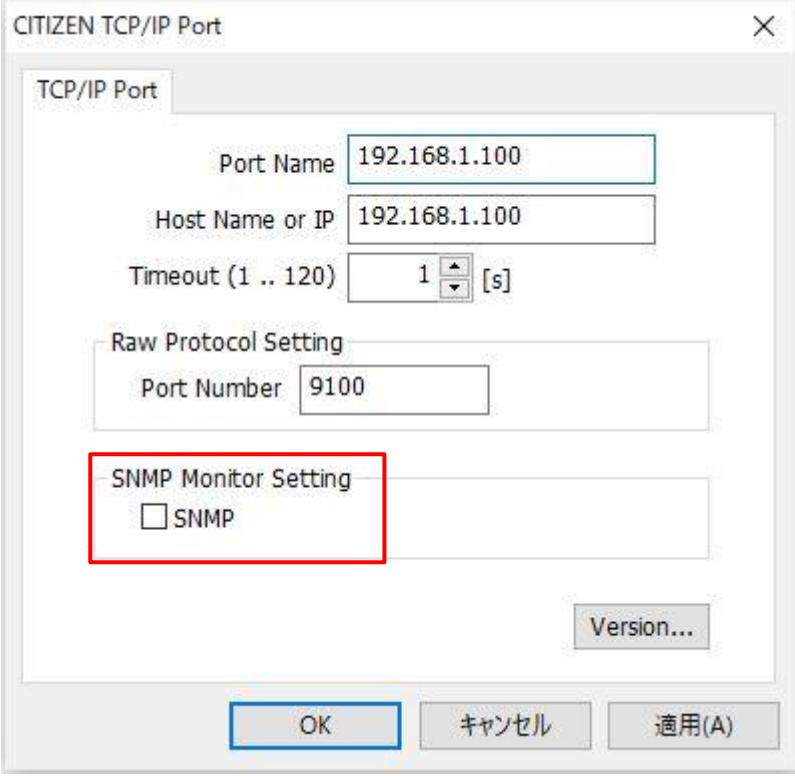
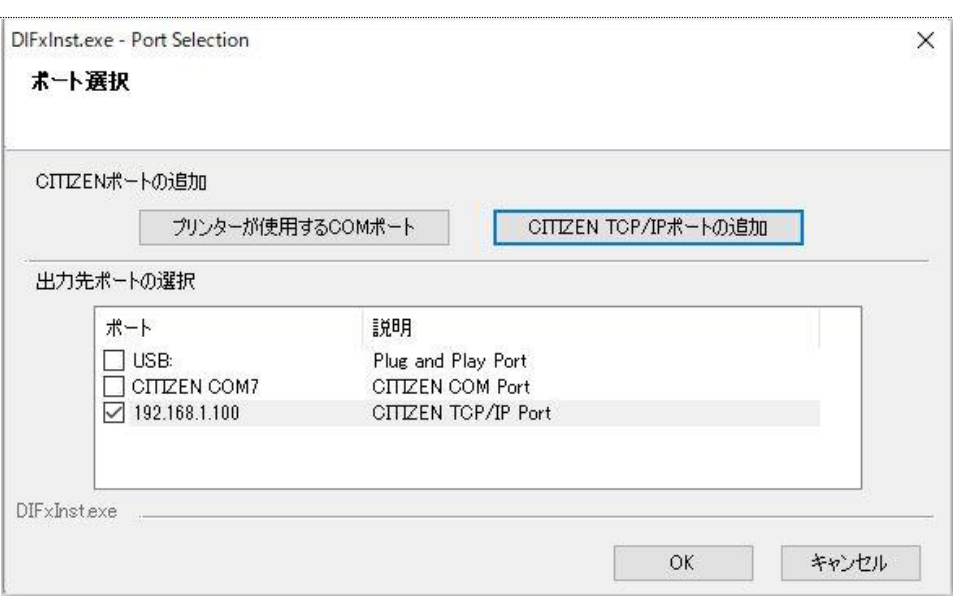
「CITIZEN TCP/IP ポートの追加」ボタンを押し、専用のポートを追加してください。

(Windows の標準の Standard TCP/IP のポートを使用すると、プリンターのステータスの取得ができません。)

追加の手順は、以下に説明します。

右図のように、プリンター  
ドラ「CITIZEN TCP/IP ポ  
ートの追加」ボタンを押し  
ます。



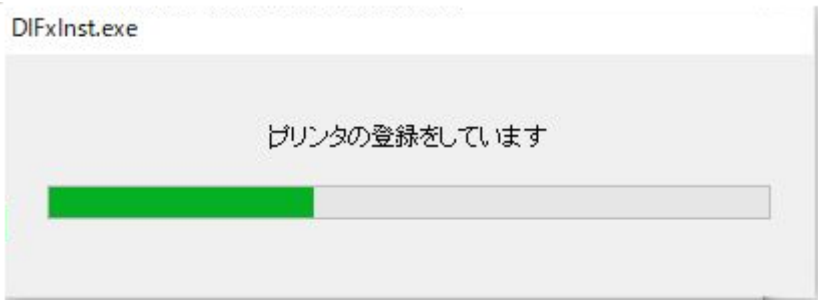

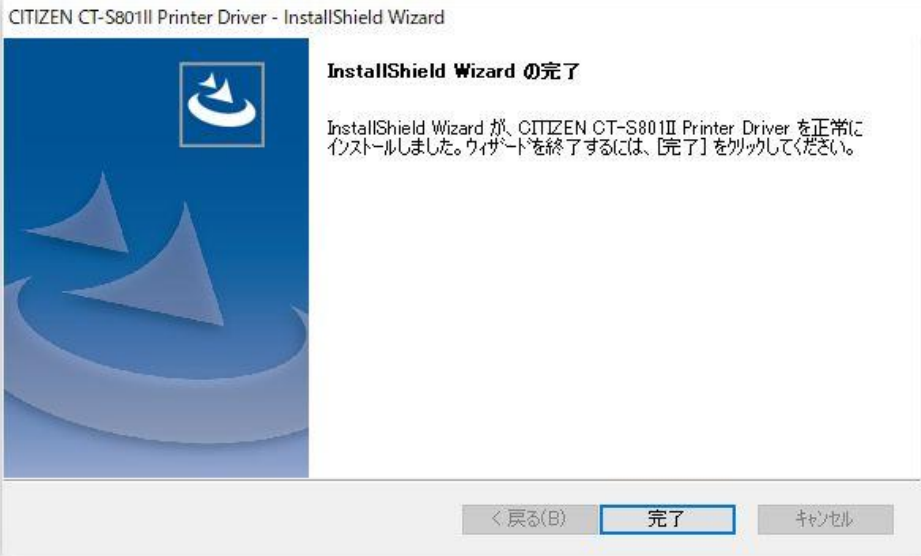
<p>プリンターに割り当てられた IP アドレスを確認し、「Port Name」に入力してください。「Host Name or IP」は入力した IP アドレスに連動して自動入力されます。必要に応じて、「Host Name or IP」を変更してください。</p> <p>Raw Protocol Setting の Port Number は、プリンターの LAN/WLAN ボードで変更をしている場合のみ変更ください。</p> <p>設定が完了したら「OK」を押します。</p>	
<p>ポート選択の画面に戻ったら、OK を押します。</p>	

#### 補足

「SNMP Monitor Setting」(上の絵の赤枠)は、ステータス情報の取得方法を選択します。

SNMP はネットワーク用のステータス取得方法で、SNMP を選択すると、従来型のステータス取得方法が起こしていた、ネットワーク経由の印刷に時間が掛かる、印刷されない、といった問題の解決が期待できますが、プリンターのモデル、ファームウェアバージョン、インターフェースボードにより SNMP に対応していない、SNMP で得られるプリンターのステータスの種類が少ないというケースがあります。

### 3.3.3 ポート選択以降

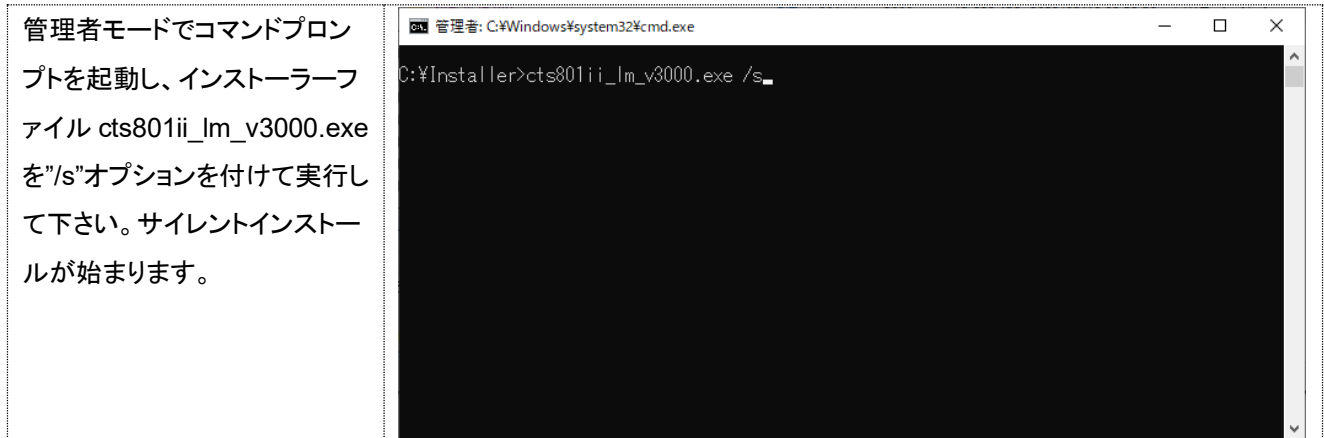
<p>ポート選択の部分で OK を押すと、必要なドライバーのファイルのコピーが始まり、左のような画面が出ます。</p>	
<p>右のような画面が表示された場合は、「インストール」を選んで、先へ進んで下さい。(複数回表示されることがあります。)</p>	
<p>以上でソフトウェアのインストールが完了しました。「完了」を押して下さい。</p>	

選択したポートが USB、またはパラレル(LPT)だった場合、まだインストールは終わっていません。次章の事後処理を行うと、インストールが完了します。

### 3.3.4 サイレントインストール

Windows10 以降の OS に限りサイレントインストールが実行出来ます。

サイレントインストール実行後、Plug & Play ポート(USB、LPT)に接続するプリンターは直ちに利用出来ます。これ以外のポートに接続する場合サイレントインストールは出来ませんので、通常の手順でインストールして下さい。



### 3.4 事後処理（PC と接続するインターフェースが USB、またはパラレル・LPT の場合）

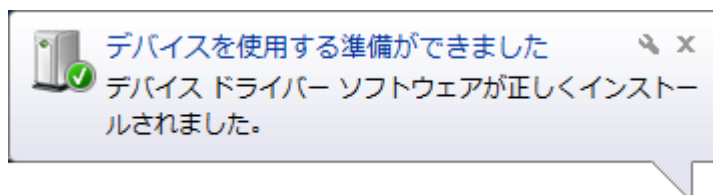
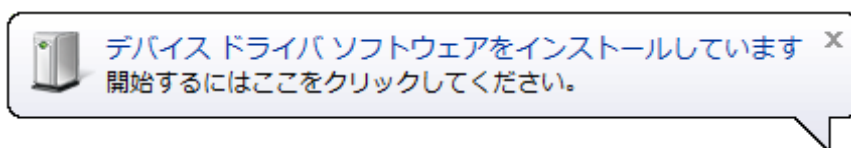
プリンタードライバーインストール後に、プリンターと PC をそのインターフェースで接続し、お互いを認識させる作業が必要となります。

（本インストール手順は、ドライバーのインストールの前にプリンターの電源が OFF になっていることを前提にしています。

USB やパラレル (LPT) インターフェースを PC に接続、電源 ON のままインストーラーを動かした場合は、デバイスとプリンターの画面に「Thermal Printer」というアイコンが出たままになるので、プリンターの電源を入れ直してください。）

プリンターの電源を入れます。

プリンターが自動的に検出されてドライバーのインストールが行われます。OS によっては、右のような表示がでます。しばらくすると、プリンターのインストールが完了します。OS によっては、右のような表示がでます。

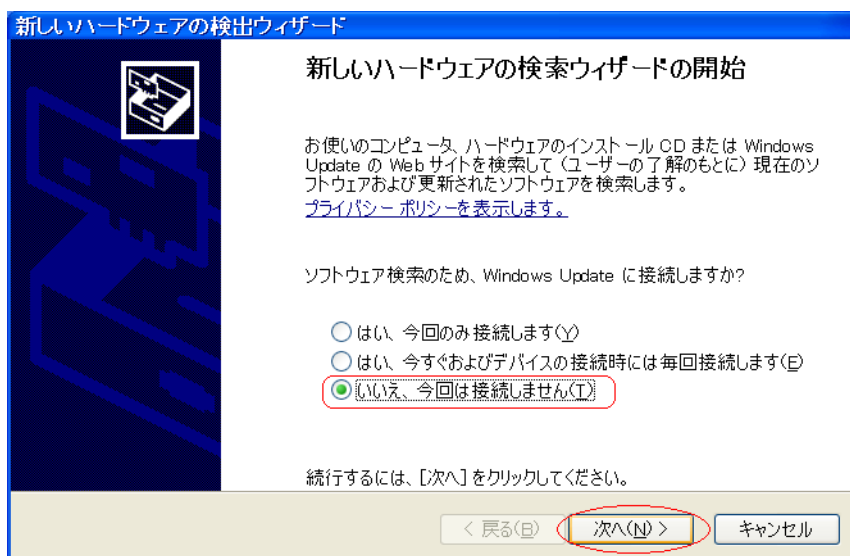


・Windows XP 以前の場合は表示される内容と手順が異なります。

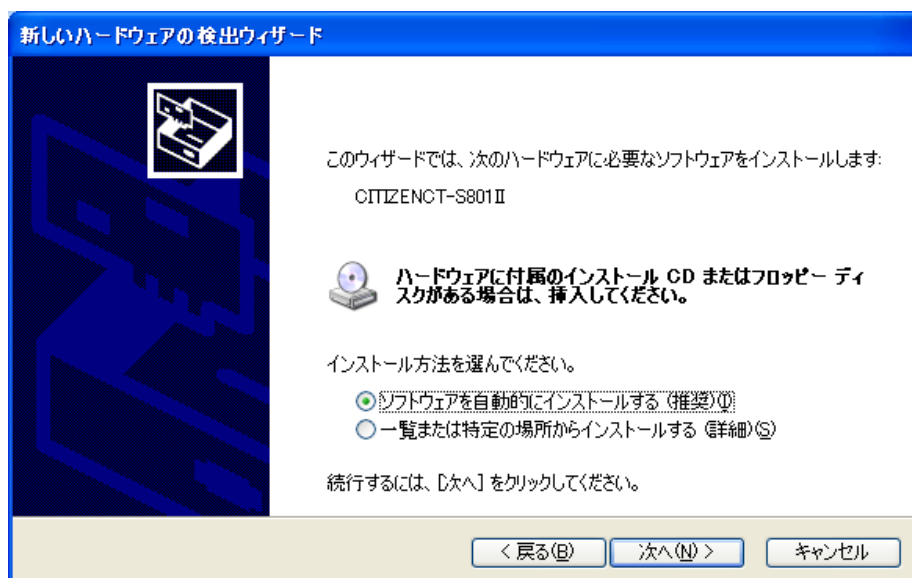
プリンターと PC を接続して、プリンターの電源をオンします。

プリンタードライバーがデジタル署名を取得していない場合、右のような画面が表示される事があります。

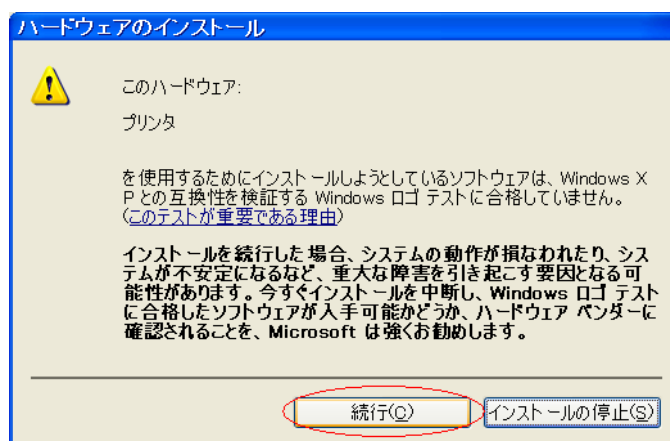
Windows Update への接続の質問には、「いいえ、今回は接続しません」を選び、「次へ」を押して下さい。



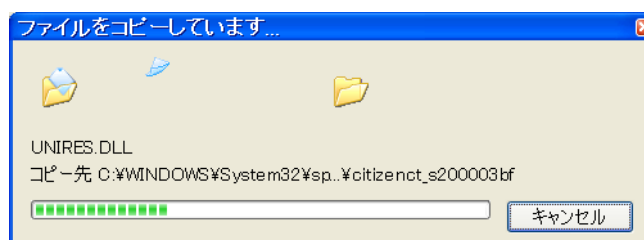
「ソフトウェアを自動的にインストールする」を選び、「次へ」を押します。



プリンタードライバーがデジタル署名を取得していない場合、右のような画面が表示される事があります。問題ありませんので、「続行」で先へ進んで下さい。

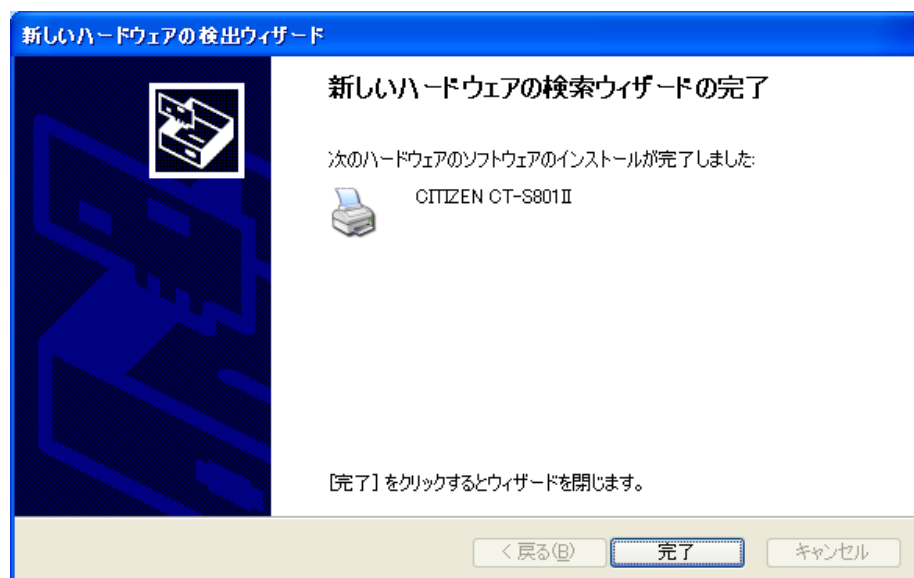


ドライバーファイルをシステムへコピーしています。





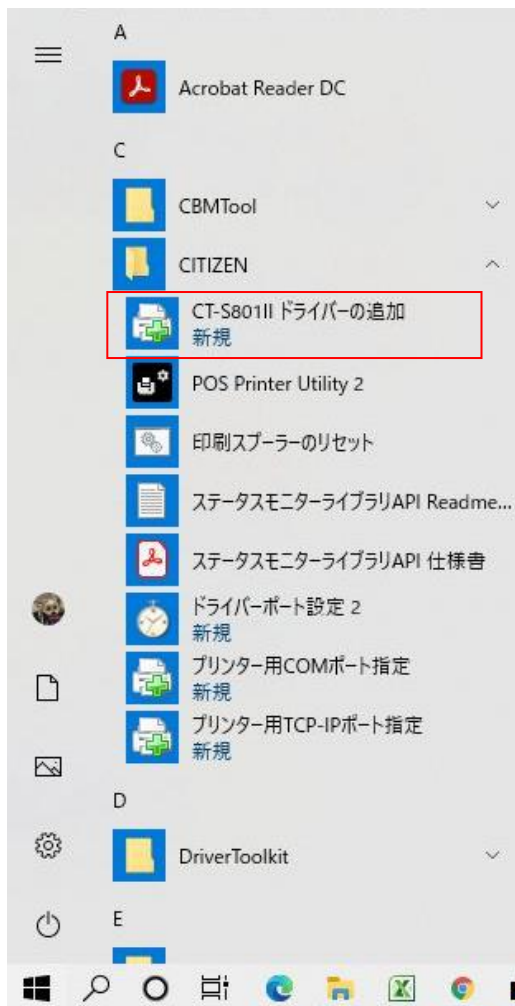
プリンターのインストールが完了しました。「完了」を押して下さい。



### 3.5 プリンターの追加インストール

すでにドライバーがインストールされているのと同じモデルの追加のドライバーをインストールしたい場合、インターフェースが、USBとパラレル(LPT)インターフェースであれば、プリンターを接続することで自動的に追加のドライバーがインストールされます。

シリアル(VCOM/Bluetooth)や有線/無線 LAN(TCP/IP)接続の場合は、下の絵のように、メニューにある、「CITIZEN」-「プリンタードライバー」-「CT-S801II ドライバーの追加」を選びます。

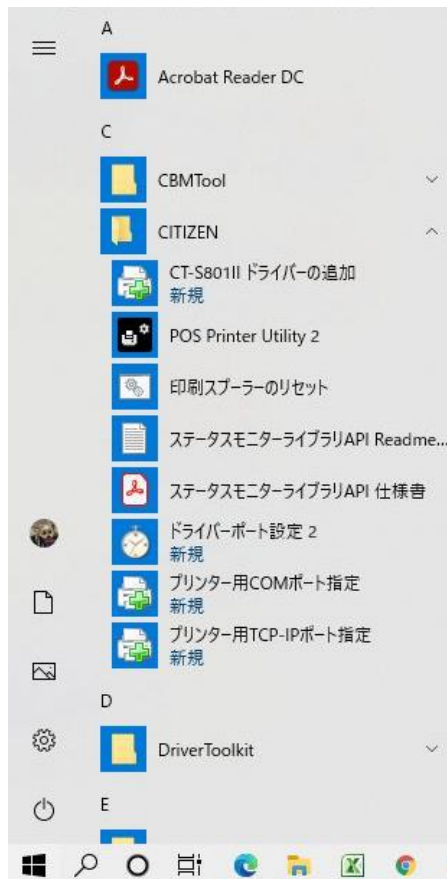


これ以降は、3.3.2 章以降と同じ手順となります。追加のドライバーには、(コピー1)などという名前が付きます。

### 3.6 COM ポート、TCP/IP ポートの追加

新たに、シリアルポートやネットワーク上のプリンター用の TCP/IP ポートをドライバー用に設定するには、スタートメニューにある、「プリンター用 COM ポート指定」、または、「プリンター用 TCP-IP ポート指定」を選びます。

これにより、3.3.2 章で説明したのと同じようにポートの設定ができます。設定したポートは、ドライバーのインストールの「ポート選択」の画面でそのまま選ぶことができます。



### 3.7 インストールと OS のアップデートに関する注意点

#### USB ポート関係

- ・USB ポートを選択してドライバーをインストールした場合、インストール後に別の USB ポートへ変更すると、印刷出来ない事があります。この場合、一度プリンターをアンインストール後に、再度インストールする事によって復旧可能です。
- ・USB またはパラレル(LPT)ポートを選択してドライバーをインストールした場合、インストール直後に POS Printer Utility を使用すると、通信に失敗する事があります。PC を再起動する事で安定して通信出来るようになります。
- ・一つの PC の複数の USB ポートに同時に同じモデルのプリンターを接続すると、Windows がプリンターの違いを判別出来なくなり、正しく動作できません。弊社の POS Printer Utility を使って、USB シリアル番号の違いが出るようにしてください。なお、同じモデルの 2 台目以降のドライバーのインストールについては、3.5 章を参照してください。
- ・USB インターフェースで何らかの理由でインストールに失敗し、アンインストールも出来ない場合、コントロールパネルのデバイスマネージャで不明のデバイスとして認識されていることがありますので、デバイスマネージャから不明のデバイスを削除してください。
- ・USB 経由の印刷ができずにスプーラーに印刷ジョブが溜まる症状が起き、復帰させるのに USB ケーブルの差し直しやプリンターか PC の再起動をしなければならない場合、USB の通信が途切れる要因がどこかにある可能性があります。新しいモデルやファームウェアのバージョンでは、USB の通信途切れ監視し、途切れた場合にはプリンターをリセットして通信を復帰させる仕組みが用意されています。この仕組みを利用される場合には、弊社までご連絡ください。

#### シリアルポート関係

- ・シリアルインターフェース経由で印刷を行う場合、プリンター側と PC 側のシリアルポート設定が一致している事を確認下さい。設定が異なっていると、「印刷が出来ない」、「文字化けしたような印刷をする」、「通信エラーが発生する」場合があります。
- ・シリアルインターフェース経由で印刷を行う場合、同じシリアルポートを使用する他のアプリの通信できない事があります。この場合、プリンタードライバーのプロパティ画面のポート設定より、印刷出力先を別のポートに変更させる事によって、現象を回避出来る場合がありますのでお試しください。

#### CT-S4500 Compress ドライバー

- ・CT-S4500 Compress ドライバーにてインストール直後に全く印刷ができない問題が報告されております。インストール後、用紙サイズを変更し「適用」ボタンを押すと、それ以降問題が起きなくなりますので、問題回避のために実行頂きますようお願いいたします。

#### ドライバーの更新と OS のアップデート

弊社ドライバーをお使いの環境で以下のような変更を行った場合に、弊社では対処、解決のアドバイスができないトラブルが起きる可能性があります。変更前に十分な情報収集、確認、検証を行い、問題が起きる変更を回避して頂きますようお願い申し上げます。

お客様がこれらの変更を行ったことで問題が起き、弊社が解決のためのアドバイスができない場合には、弊社からは保証ができませんのでご了承ください。

1)新しいバージョンのドライバーに入れ替えた場合

OS が用意するドライバーの仕様が変更されていたり、弊社のドライバーの機能が追加されていたりすることで、お使いのアプリや環境にて想定通りに動作しない、全く動作しないといったことが考えられます。新しいドライバーの設定変更等により問題が回避できる場合が多いと思われますが、最悪の場合はアプリ等の変更をしないと問題が解決しない、古いドライバーに戻す以外に解決策がない、といったことが考えられます。

2)新しい PC、新しい OS に移行した場合

結果的に上記1と同じ状況になること以外に、従来使っていた PC や OS に依存する機能を利用していた場合、ドライバーが想定通りに動作しない、全く動作しない、といったことが考えられます。

3)Windows Update 等の OS のアップデートをインストールした場合

Microsoft より月に1度や半年に1度、あるいは不定期に、様々なアップデートが提供されますが、そのアップデートがアプリ、スプーラー、ドライバー、印刷結果、などに予想外のトラブルを引き起こす場合、弊社では、そのトラブルの解決ができないことが考えられます。

#### 4. アンインストール

プリンターならびにソフトウェアのアンインストールは、「コントロールパネル」→「プログラムと機能」(OSの種類によっては「プログラムの追加と削除」という名称になっています)より行う事が出来ます。



インストールされているドライバー(上の絵の場合は、「CITIZEN CT-S801II Printer Driver」)を選び、「アンインストール」をクリックするとアンインストールが始まります。

複数のドライバーがインストールされている場合、条件によっては、アンインストール時に、再起動を求められることがあります。指示に従って再起動してください。

**弊社では、ドライバークリーナーと言うドライバーを強制的に削除するツールを用意しております。ドライバーがどうしてもアンインストールできない場合、弊社までお問合せください。**